



錦町議会だより

はる



2021.NO

136

目次

・第1回定例会	2～3
・トピックス	4
・一般質問一覧	5
・一般質問	6～11
・総務建設常任委員会予算審議報告	12～13
・厚生文教経済常任委員会予算審議報告	14～15
・議会の動き	16

つらく悲しい時代があった。

そんな時でも春は訪れ、桜は咲いたのだろう。

今年の桜は、静かだ。

嵐が去るのを黙って耐えている。

(2021年春、錦町慰霊塔の桜庭にて)

錦中入学式



令和3年 第1回 定例会

令和3年度 当初予算を採択 前年度比 7億円増 過去最高額に！

令和3年第1回定例会は、3月8日から16日までの9日間の日程で行われ、令和3年度各会計当初予算、令和2年度各会計補正予算、条例改正等22件、人事案件1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決した。

令和3年度の各会計当初予算は、初日に町長から提案理由の説明があり、9日から12日の4日間、総務建設、厚生文教経済の2つの常任委員会において調査を行い、16日に各常任委員会の調査報告のあと質疑・採決を行い、いずれも原案のとおり可決した。その他、陳情1件が上程され厚生文教経済常任委員会（池田委員長）に付託した結果、採択とした。

今回の一般質問には、6人が登壇し、執行部の考えを質した。

令和3年度一般会計の予算総額は64億2,514万5千円。前年度に対して約6億9,055万7千円（12.0%）増の過去最高額となった。主な要因は、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に係る感染症特別対策事業費6,654万円を計上の外、ふるさと錦ゆかり基金費1億4,000万円、ふるさと納税事業費9,497万円、河川等災害関連事業等の河川費6,957万円、令和2年7月豪雨に係る災害復旧費4億5,560万円増などである。

条例改正等

① 錦町国営川辺川総合土地改良事業

負担金等徴収条例

受益者負担金の徴収事務を行うため制定するもの

② 錦町災害弔慰金等支給審査委員会設置条例

7月豪雨災害の関連死の可能性がある事案について、専門的見地から審査を行うため制定するもの

③ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

右記委員の報酬等が発生することから改正するもの

④ 錦町子宝祝い金支給条例の一部を改正する条例

子宝祝い金の額を変更する改正を行うもの

⑤ 錦町課設置条例及び錦町新型インフルエンザ等対策本部条例の一部を改正する条例

機構改革を行うことに伴い改正するもの

⑥ 錦町一般職の職員の給与に関する

改正前 健康保険課 ↓ 改正後 保険政策課、健康増進課

条例の一部を改正する条例

災害時において、本町に派遣された職員への災害派遣手当を支給できるように改正するもの

⑦ 錦町の行政財産及び公の施設使用料条例の一部を改正する条例

庁舎会議室の使用料について明記するため改正するもの

⑧ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法及び地方税法施行令の改正によるもの

⑨ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の改定に伴い所要の改正を行うもの

⑩ 錦町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の改定に伴い所要の改正を行うもの

⑪ 錦町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準

⑫ 錦町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営

並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準

を定める条例の一部を改正する条例

⑬ 錦町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

⑭ 錦町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

⑮ 錦町給水条例の一部を改正する条例

⑯ 錦町下水道条例の一部を改正する条例

⑰ 錦町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

⑱ 水道料金等の改定及び下水道使用料等の算定方法の変更に伴い必要の改正を行うもの

その他

① 錦町農産物直売所等の指定管理者の指定について

団体等の名称

錦町農産物等直売所出荷協議会

管理を行わせる期間

令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

② 町道路線の廃止について

③ 町道路線の認定について

熊本県が建設、管理する錦南部農道の町への一部移管に伴い町道村中線及び小峯線を廃止のうえ終点を改めて再認定、新たに錦南部線及び堤線を認定するもの

④ 令和2年7月豪雨災害公費解体工事 請負契約について

契約の金額 1億1,000万円

契約の相手方 球磨郡多良木町 多良木144番地1 味岡建設株式会社

⑤ 財産の取得について

取得する財産(土地) 所在地 錦町大字木上西 字佐土原地内

面積 30,264平方メートル

取得の目的 佐土原地区事業用地

取得の予定価格 1,720万571円

人事案件

教育長の任命について

住所 錦町大字西 1948番地8

氏名 毎床 三喜男

(まいとこ みさお)

陳情書採択

農業委員会への女性登用に関する要望書

令和2年第4回定例会

要望書

令和3年第1回臨時会

通年議会の試行により休会中の令和2年第4回定例会は、2月15日に再開し、令和2年7月豪雨に係る災害等廃棄物処理事業費、河川等災害関連事業費及び災害復旧費等に係る一般会計補正予算が追加上程され、原案のとおり可決した。なお、本定例会は、2月26日をもって閉会した。

令和3年 第1回定例会 表決一覧

(賛成 = ○ 反対 = ×)

議案名	議員名											可・否
	早田	石松	吉田	竹田	藤川	岡田	上村	池田	右田	守永	荒川	
錦町子宝祝い金支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
令和3年度 錦町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決

熊本県より説明 流域治水の施策

3月16日、錦町議会定例会最終日に熊本県より議会に対して「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」の説明がありました。プラン概要は

- 1、「被災状況・豪雨災害の検証」
- 2、「復旧・復興の基本理念、目指す姿」
- 3、「新たな治水の方向性を踏まえた治水、防災対策及び被災者、被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み」
- 4、「持続可能な地域の実現に向けた将来ビジョン（目指すべき取り組みの方向性）」
- 5、「復旧・復興プランの実現に向けて」

と5項目から構成。項目ごとに説明があり、その中で「流域全体の総合力による、緑の流域治水」として挙げられた河道掘削、堤防整備などの河川改修や山地災害の早期復旧と砂防・治山施設の整備等が議員からも多く質疑されました。



作業部会

現在検討中の議会タブレット

錦町議会活性化特別委員会（荒川委員長）、作業部会は、3月18日19日に錦町総務課職員と合同で、ペーパーレスシステム、プレゼンテーションに参加しました。1日1社で2社からの共にオンラインによるプレゼンテーションで、タブレットペーパーレス化で得られる効果（過去資料の活用、業務効率化コスト削減、災害時の連絡手段等）や、操作性（サムネイル表示、ビューアー分別機能等）、データセンターのセキュリティ仕様などの説明があり、執行部署においては、管理者機能、運用支援サービスなどの説明があった。質疑応答においては、タブレット導入において「先行事例の導入効果」の情報提供や、議会運用においては「運用基準」を独自に制定し使用基準、紛失時の対応、禁止事項を明文化する必要があるなどの具体的な取り組みの情報提供であった。現在のコロナ禍、災害多発の状況下において国においてもデジタル法案が取り上げられ、その運用は全国的になりつつある。



第1回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
荒川議員 (P6)	令和3年度施政方針について	①町長の施政方針について ②財政面において ③詳細項目質疑 1. 農業振興政策：林道復旧及び間伐材処理について 2. 商工業施策：スマートインター開通したものの観光、企業誘致等豪雨被害でダメージを受けている 人吉球磨の連携策は 3. 福祉政策：健康保険課を2課に分けての施策展開は 4. 教育施策：将来を見据えた学校編成は 5. 消防・防災政策：天災に対しての今後の強化策は 6. 社会資本政策：水道及び下水道料金改正をしたが、今後はどう健全運営をしていくのか 橋梁補強策はあるのか
藤川議員 (P7)	国民健康保険事業(制度)の今後のあり方について	「国保料(税)が高く、生活が厳しい」の町民の声がある ①保険料(税)が下がる町村が多いのに、なぜ錦町は上がるのか ②錦町内加入者の生活実態と国保料(税)の関係は ③国保料(税)の収納率と滞納者に対する制裁措置は ④国保は「助け合い」(保険)ではなく「社会保障」だといわれるが、国保制度を町長はどのように考えるか
	町職員の労務管理について (前議会定期継続分)	①7月豪雨に対応した職員の手当問題(時間外、宿日直) ②台風10号(9/6)時の対応は ③労働基準監督署の判断、労基法、最高裁判例との整合性は
早田議員 (P8)	事業承継・商工業担い手支援事業について	①事業導入予定は ②事業内容は ③事業導入に期待するものは
	地区防災について	①取り組む予定は ②ご近所防災の必要性があると考えてるが
	球磨川河川敷の有効活用について	①多目的広場としての活用はできないか ②ミュージアムと日本遺産との共有は
石松議員 (P9)	農業の振興について	①新規就農者の状況と定着状況について ②農業次世代人材投資事業の見直しは ③専門的な長期のサポート体制は ④家族経営協定の現状と内容について ⑤農業者年金の加入状況は ⑥経営継承発展事業の取り組みは
	学生支援について	①学生支援緊急給付金と困窮大学生給付金の事業の概要は ②錦町の奨学金の内容と利用状況は ③償還の現状と対策は ④学生に対しての町独自の支援は
	コロナ対策について	①新型コロナウイルス感染症対策の現状とこれからの方策について
守永議員 (P10)	コロナ問題から考察される今後の町政のあり方について	①コロナ禍がもたらした課題をどう捉えその解消に地方創生SDGsにどう反映していくのか
吉田議員 (P11)	7月豪雨災害からの復旧と今後の対策について	①町管理の志戸内谷川の護岸整備計画は ②大平溪谷キャンプ場及び併用林道の整備について ③田んぼダム、町としてどのような支援を考えているか ④被災農地の下流域軽度の被災農地の本年作付けについて
	企業進出、移転による町の活性化とインフラ整備について	①木上知敷原地区に工業、商業そして公的機関がリニューアルオープン 今後、町の活性化への取り組みは ②木上知敷原地区及び地域の町道、農道の拡幅計画は(インフラ整備)

一般質問

町政のここが聞きたい

6人が登壇
(要約掲載)

「お金と人の放言高論」



荒川 孝一 議員

荒川 令和3年度施政方針が今定例会初日に発表された。気になるのが財政指標において経常収支比率、公債比率、将来負担比率等、町の財政が悪化しているのでは。

町長 災害など異常危機に備えて財政調政基金を積み立ててきたが、昨年

度のコロナ対策や災害復旧費で、あっという間に6億8千万円減少し、また、平成31年度末の地方債の残高が49億1千500万円、2年度の起債額は、トータルで11億7千200万円となり、例年の3倍程度の借入金となっている。指摘通り財政指標の悪化が懸念される。今後、償還のピークは令和5年の4億4千400万円程度であり、今年11億円の起債を発行しているの、その償還がどのようになるか非常に心配している。

荒川 本町だけではなく県内45市町村の財政調整基金が、コロナ禍及び7月豪雨対応で大幅に減少している。2年前の町長町議選挙では”財調が

十何億もあって、そんなに貯めてどうする”と町民の方の声があった。14年程前、新町長になられて、私も新議員になりたての頃の財政調整基金は1億円にも満たない残高だった。当時このようなコロナ禍、大豪雨があったなら町の財政は破たんしていただろう。改めて町長の経営手腕には敬服している。その中で気になるのが、職員とパート職員の比率。年間の人件費を大きく左右する。町民から見たら正職員もパート職員も同じ役場職員だ。人件費削減策ではな

いか。

町長 他の町村と比べても職員数は適正だと思っている。指摘通りパート職員数が増えてきていることも事実だ。今、本町の人口も国勢調査では1万人を切ろうとしている。その中で職員の人件費も血税から支払われている。そういう面も考え、適正な職員の配置と住民サービスが低下しないように配慮している。



令和3年度、錦町を照らす初日の出

荒川 職員数が減って業務量が多くなるならば、単純に1人当たりの仕事量が増える。そのことにより、真面目に一生懸命仕事をしているのに、やる気がうせ、町民サービスが低下することになってはいけません。職員数の削減はしっかりと業務簡素化や民間委託を進めることでその業務量の低減と併せて進めていくべき。今回のコロナ禍そして予防接種、昨年の7月豪雨等、町長をはじめ職員の方々は大変御苦労であったろう。町民の方々は役場職員に対して絶大な信頼を置いている。今後も責任ある対応を望む。

国保料（税）が高い！
〜国保事業はどうあるべきか〜

藤川 「国保料（税）が高く、生活が厳しい。」という町民の声がある。熊日新聞（2 / 11付）に熊本県が公表した2021年度の国民健康保険の被保険者一人当たりの市町村別標準保険料が掲載された。県下45市町村中国保料が昨年度より減るのが34市町村、増えるのが11町村。錦町は国保料が増える11町村の一つとなっている。国保料が下がる町村が多いのになぜ錦町は上がるのか。

なっている。令和2年度国保調定額を被保険者数で除した額は9万8,318円で県が示す標準保険料より約一万円低い。近い将来県内の保険料が統一されることになるのでその点を考慮して国保の運営を行う必要がある。

藤川 標準保険料からいけば県内（45市町村）で高い方から第14位。高い保険料となっている理由は何か。

健康保険課 保険料が高くなる原因は「療養給付費」が高いと理解していただきたい。

健康保険課 県が公表した標準保険料は県が示す参考値であり市町村の実情を考慮して対応することに

藤川 錦町の国保加入者の生活実感と国保料の関係はどうなっているか。①錦町国保加入者の職業別構成割合（無職・非正規・自営業など）②国保加入者の所得水準（平均）③所得に対する健康保険料の割合はどうか。

健康保険課 統計を取っていないのでわからないが、加入世帯は1400世帯（約35%）被保険者は2470人（約23%）平均所得は105万2,000円。他の組合健保などの比較は資料を持っていない。

藤川 今、大事なことはもうこれ以上国保料を上げないこと。国保は所得水準が最も低い層の医療保険。7割5割2割などの減免制度はあるが重税感がある。高い保険料を生み出している構造を転換する必要がある。国の負担割合（国庫支出金）を元の50%（現在25%）に戻せと自治体も声を上げるべきだ。

町長 熊日新聞の一覧表から見れば「高い」という認識はある。国保加入者の負担度合い（所得に対する）は高いと思っている。年齢構成、職

員構成などの要素もある。日頃からの健康管理に努めて医療費を抑えていくということに尽きるのではないか。

※本人の希望により原文のまま掲載

反ではないかと質した。



藤川 喜一 議員

	2020年度		2021年度		増減	順位
	額	順位	額	順位		
熊本市	115,800	6	113,569	8	-2,231	36
宇土市	96,382	34	95,139	34	-1,243	21
宇城市	113,252	9	113,705	7	453	10
美里町	102,600	25	100,868	27	-1,732	32
荒尾市	96,547	33	93,689	35	-2,858	39
玉名市	119,735	3	117,306	5	-2,429	37
玉東町	92,587	38	95,144	33	2,557	3
和水町	113,050	10	108,563	15	-4,487	42
南関町	100,406	26	99,183	28	-1,223	19
長洲町	99,215	29	97,500	32	-1,715	31
山鹿市	105,117	22	103,548	23	-1,569	29
菊池市	108,724	16	106,816	17	-1,908	35
合志市	112,382	12	112,160	9	-222	1
大津町	114,467	8	114,280	6	-207	2
菊陽町	105,582	21	104,345	22	-1,237	30
人吉市	104,550	23	103,077	25	-1,473	27
錦町	108,135	18	108,758	14	623	8
あさぎり町	128,117	1	128,761	2	-1,356	23
多良木町	107,244	19	105,376	20	-1,868	34
湯前町	92,827	37	89,228	39	-3,599	40
水上村	94,698	35	89,935	38	-4,763	43
相良村	103,655	24	105,858	19	2,203	4
五木村	90,691	39	90,823	37	132	11
山江村	94,583	36	92,937	36	-1,646	30
球磨村	87,291	42	86,509	42	-682	16
天草市	90,125	40	88,644	40	-1,481	28
上天草市	98,727	31	103,219	24	4,492	2
苇北町	89,285	41	87,880	41	-1,405	25
県平均	109,246		107,837		-1,409	

県が公表した
「国民健康保険標準保険料」

商工業事業承継予算化に 商工業担い手支援事業は



早田 和彦 議員

いると思う。では、この事業の対象者と条件は。

企画観光課 まず、錦町商工会会員で小規模事業者としている。また、50歳未満で町内に住所がある方、町内小規模事業者の事業を継承し携わる方、担い手として商工会活動に積極的に参加する事が条件としている。

早田 農業経営には担い手支援が既に始まっているが、商工業にはまだ無い。今回、令和3年度予算で商工業担い手支援事業が取り上げられてあるが、この取組みは？

企画観光課 これまでは、商工業事業者へ直接の担い手支援はなかったが、管内市町村や農業後継者支援の状況等を勘案し、来年度からの導入に向け当初予算に計上した。

早田 この事業が予算化された事について、関係者の方々も歓迎されて

町長 今回、コロナ禍により業種によって差があるが、商工業は全体的に厳しいと聴いている。この制度を使って我家の経営プラス、町の商工業の発展、振興に寄与出来ればとの考えで、商業後継者制度を上程している。また、書類審査も簡易な方法でと考えている。

ご近所を守る地区防災 小回りの利く地区防災を 取り入れては

早田 大規模災害に備える為、共助の重要性が高まり、地区防災が計画されたが、導入の予定はあるのか。

総務課 豪雨災害後、区長会議にて、地域の自主防災について質問をしたが、組織として活動は出来ていないとの答え。地区防災の計画自体はこちらで出来るが、あとは各区の取組が重要になる。

町長 大事な事は、自分の命を守る自助、助け合う共助、そして公助があつて地域の安心安全に繋がると考

える。7月豪雨の際、隣人が背負って近所の方を高台に避難させた話が数件あつた。やはり共助、それが大事だろうと考える。また、5月に3地区で座談会を予定しており、その際に、自主防災、地区防災の話をしていこうと思う。

早田 錦町から大きな被害が出ないよう是非、取組を考えて頂きたい



錦町商工会

農業担い手への経営継承発展事業の

取り組みは

学生等の支援は

わせて、職員一丸となって円滑な集団接種が実施できるよう、体制を整える。

石松 錦町の農業の振興には、法人経営・集落営農・新規就農者など多様な担い手の育成、確保を進めながら持続可能な経営体の成長を期待し、農業次世代人材投資事業や農業担い

農林振興課 県で農業経営継承支援機構を新たに設置し、希望情報をデータベース化しマッチングを実施される。町としても情報を活用し支援していく。

石松 新型コロナウイルス感染症の影響で、学生の生活や学業に影響が出ている。錦町としても学生に対し、奨学金制度があるが、現状と対策は。

教育振興課 奨学金の返済期間を延長する等、改正し支援している。

手支援給付事業で新規就農者への支援が進められているが、定着状況は。

石松 国は令和3年度予算の中で、経営継承発展等支援事業として、親子間・第三者継承を問わず、農家に最大百万円を支援する新たな取り組みを始める。親元就農交付金とこの事業を組み合わせることで次世代への経営継承を進める一つの方法と思うが。

石松 経済的に大変な学生に対して安心して学びの継続のため、町として支援の考えは。

町長 米などの特産物の支援をと思っている。

石松 高齢化等でリタイアする農家の移譲希望者と規模拡大を希望する経営継承者や新規就農者をつなぐ対策は。

農林振興課 国と地方が一体となって農地を守っていく施策ですので取り組んでいかなければならないと考える。

新型コロナウイルス感染症対策の現状と方策は

石松 コロナウイルス感染症拡大により、人々の生命と暮らしに深刻な影響を与えている。国の予算を踏まえて町の対応は。



石松 まゆ子 議員

町長 農業経営をどう繋いでいくか検討させていただく。

健康保険課 感染防止の徹底とワクチン接種に向け、ワクチン供給に合



ワクチン接種会場



コロナ問題から考察される 今後の町政のあり方について



守永 慶次郎 議員

守永 コロナ禍がもたらした課題をどう捉えその解消には地方創生SDGs（持続可能な開発目標）にどう反映しているのか？それぞれの担当課に問う。

健康保険課 約1年間、地域のコミュニティが途絶え高齢者の日常生活動作の機能低下により介護保険給付費に影響を及ぼしてきている。「どぎゃんな」「だんだんな」の声が聞こえる優しいまちづくりを目指す第8期高齢者福祉介護保険事業計画を策定した。

教育振興課 学校教育では長期休校により児童生徒の学力及び運動の不足に於ける体力の低下が見受けられる。全児童生徒に一人一台のタブレット配布、オンライン教育、GIGAスクール強化等で学校家庭を問わず学力の向上を目指す。運動のメニュー開発や家庭での運動習慣推進を図る。社会教育では、各スポーツ行事中止により地域コミュニティの低下がある。町全体から分館、集落単位での取り組みの検討がでてきた。

農林振興課 農畜産物は流通の停止や制限があり一時需給のバランスが崩れた。貿易でも自国優先で食料輸出を規制する動きがある。国内の食料自給率、生産基盤の脆弱が顕著化した。国産品の鮮度、安心感の強みを生かした生産基盤の強化支援、オ

ンラインを活用した販路拡大、高付加価値製品開発の支援等に取り組み。

総務課 自然災害発生時の避難所での感染対策がある。3密を避ける方策としては個人宅等への分散、車中泊が考えられる。今後の避難計画の見直しではハザードマップを活用したマイタイムラインの普及を図る。

企画観光課 情報通信インフラの不具合いや遅れで国の各種助成金、給付金の給付が遅れた。リモートワークの出現等働き方転換のオンライン化対応として情報インフラの環境整備を進めていく。

町長 コロナ対応としては、ワクチン接種に向けて万全を尽くす。災害復旧では令和3年度早期に100%の入札を執行する。町民の生命と財産を守るといふ使命の中、その基本は財政である。厳しい財政運営であるが決算まで精査しながら財政を緩やかにしていく。

守永 すべての町民に健康と福祉を、

質の高い教育を子供に、伴につくる町づくり、町民を飢餓から守る自給自足の農政、安心安全な町づくり、新たな地域雇用創出により経済の活性化等が地方創生SDGsに反映すべきと考える。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsのロゴマーク

7月豪雨災害からの復旧と

今後の対策について

豪雨災害からの復旧と今後

吉田 14区を流れる志戸内川洗掘対策、護岸整備計画は。

地域整備課 町管理の4河川も護岸整備が完了していない。現地状況調査を行い、財政状況を勘案し整備計画を策定実施していく。

吉田 百太郎溝から県道錦湯前線上下区間洗掘による農地の陥没が見受



吉田 眞二 議員

けられるので対策もお願いしたい。また、大平溪谷キャンプ場に行く道路が崩落し危険。今後の復旧工事の予定は。

農林振興課 復旧工事は国が行う。工期は9ヶ月程度を見込む。

吉田 事故防止の観点からキャンプ場の閉鎖の考えは。

農林振興課 現地を再確認の上、企画観光課と協議し検討する。

田んぼダム推進

吉田 ダムや堤防の完成には相当の時間を要すると思う。本年作付けから横山、中原で熊本県の実証試験に取り組み畦畔強化を実施し、下流域の被害軽減、地域防災の為に広く町内の農家をお願いする考えはないか。

町長 広報誌を通じながら農家の方々にお願したい。既に土地改良区にはお願いしている。

吉田 畦畔強化対策は災害時の防災だけでなく雨が少ない。干ばつ対策にもなる防災、減災そして干ばつ対策に畦畔補強対策をお願いしたい。

企業進出と今後

吉田 木上地区の活性化に大いに期待される。今後地域、町の活性化にどのように結び付けて行くのか。

企画観光課 町内はもとより、人吉球磨へ人を呼び込む拠点として物産飲食店、他の観光施設と連携して地域の賑わいづくりに繋げていく。また、新設移転、施設拡充で地元からの新規雇用や雇用の維持にも繋がり、町の活性化に果たす役割は非常に大きい。今後は、バイオマス発電工場見学、資料館見学体験を組み合わせ、社会課題解決に向けた学びの場、考える場として地区、地域における重要な役割、取り組みと考えている。

知敷原地区のインフラ整備は

吉田 山形種鶏場までの直線の農道と佐土原十日市線の拡幅計画は。

地域整備課 今回は、嬉野知敷原線を改良計画、農道の拡幅計画は今のところ計画はない。佐土原十日市線に関しても計画がないのが現状。

吉田 知敷原地区への企業進出で大型車両、車の交通量が増加すると思われる、農業用の大型農業機械も頻繁に通る、地元の要望も有ると聞いている、是非計画をお願いしたい。



交通量増加が予想される町道

予算に関する調査報告

水道・下水道料金、 10月に改定へ 住民に対し丁寧な説明を

総務建設常任委員会

○総務課

(行政係)

令和2年度は豪雨災害や、コロナ禍等非常時により、職員に負担が多かったことを踏まえ、職員の労務管理、適正化に努められたい。危機管理体制整備を願う。

行政手続きの簡素化と町民の負担軽減を図るために、各種申請書への押印見直しを進められたい。

くま川鉄道に關し、昨年同様補助金、経常損失分4,795千円、施設整備分7,055千円計上してあるが、昨年の水害で大被害を被り現在は全線不通状況である。復興の目

途も立っていないが予算措置された以上は、出来る範囲での復興は早急に実施され、沿線住民にくま川鉄道の熱意を見せるべく、行政からの指導を強く望む。

(財政係)

当初予算総額は歳入、歳出それぞれ、64億2514万5千円と過去最高額であり、前年度比12.0%増となり、14億あった財政調整基金も7億5千万円になる見通しである。

豪雨災害やコロナ禍により、軽自動車税、市町村たばこ税以外の税収は減る見通しであり、将来の施設整備、改修等を考えると、財政調整基金も含め公共施設整備基金の増額など総合的に基金運用を検討されたい。

(消防交通・管財係)

消防団員について、条例定数350人に対し現在、団員数299人、機能別消防団員数69人、女性団員数0人との報

告であったが、現役団員の昼間の職業等を考慮した時、有事の際の出動に困難を来すのではと憂慮する。

このことは、今年の施政方針にも記述してあるので、最重要課題として検討を望む。中でも女性団員の確保については熟考されたい。

各部に対し、色々な装備が配備され、機能向上が図られているが、台風や地震時の風倒木、瓦礫撤去にチェンソーが有効だと考えるので配備を希望する。

防災費に計上されている職員に対する宿日直手当の執行にあたっては、適正な方法で支給されたい。

○企画観光課

人吉海軍航空基地資料館がリニューアルオープンした。入館料も500円から800円に上げられ、目標入館者数達成に向け最大限の努力を望む。

ふるさと帰郷事業の中で新たに錦産食材調理動画配信事業が

○地域整備課

土木費（災害復旧工事を含め）において、令和2年度繰越

○税務課

町民税、固定資産税、地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税等、101,343千円の減となり、税収が厳しい中、情報の収集、課税物件の精査を願う。コロナ禍により、税滞納が増える中、徴収係が1名となっている。現在の徴収係には問題ではないか。係の充実を図るよう、徴収体制の強化を図りたい。

○出納室

今後とも指定金融機関と信頼関係を保ちつつ、迅速、正確な出納事務に努められたい。資金の管理については、健全

（下水道特別会計・水道事業会計）

10月に料金の改定が行われる。住民に対し丁寧な説明を行い、理解を求めなければならぬ。また、水道事業において、不慮の事故等が発生した時などを考慮し、保険加入を検討すべきと思う。町民に安心、安全な水を、飲料水を供給することが大前提である。

明許費が13件、それに加え令和3年度の工事関係予算9件である。これを、地域整備課現職員で処理となれば、かなりの負担が予想される。そこで、期間雇用として役場職員OBで建設課経験者等の任用をしては如何か。

水道・下水道料金改定表

（現行）水道料金表【税込み】

メーター口径	基本水量	基本料金	超過料金
13mm	10 m ³ まで	1,060円	1 m ³ 増につき 130円
20mm	30 m ³ まで	3,680円	
30mm		3,930円	
40mm		4,180円	
50mm		4,430円	
75mm		6,300円	
100mm		8,420円	

（新）水道料金表【税込み】

メーター口径	基本水量	基本料金	超過料金 (10 m ³ ~)
13mm	10 m ³ まで	1,200円	1 m ³ 増につき 140円
20mm			
30mm			
40mm			
50mm			
75mm			
100mm			

（現行）下水道料金表【税抜】

区分	基本料金	人数割 (1人当り)	摘要
一般世帯	1,200円	900円	人数割については、5人までは左記金額に人数を乗じた額とし、6人目からは1人につき左記金額の半額を乗じた額を加算するものとする。

町水道加入世帯：水量制

町水道未加入世帯：人頭制（人数制）

（新）下水道料金表【税抜】

区分	基本料金 (10 m ³ まで)	超過料金 (1 m ³ につき)
全 て	1,900円	200円

（新）下水道料金表【税抜】

区分	基本料金	超過料金 (1人につき)
全 て	1,300円	1,000円

※6人以降は追加人頭の半額

○議会事務局

総務課においてタブレット導入を検討しているが、AIを活用した議事録作成など時代に沿った作業の効率化を図りたい。

で効率的な運用を図りたい。



子宝祝い金条例改正

増額による少子化対策に期待

厚生文教経済常任委員会

○住民福祉課

(住民係)

結婚相談事業においては、新型コロナウイルスの影響で従来の活動が低迷していると思われるが、結婚新生活支援事業及び結婚チャレンジ事業を効果的に活用し、着実な成果を期待する。

(福祉係)

福祉係は、業務が多岐に渡り、障がい福祉関連、児童虐待関連等、目に見えない案件や家庭の中に入れない案件等が急増していると思われる業務もあるので、適切な人員の配置を図りたい。

(子育て支援係)

子宝祝い金が令和3年度から条例改正により第1子については15万円、第2子については20万円、第3子以降については25万円と改正され、少子化対策について大いに寄与するものと考えられる。

(環境係)

令和2年7月豪雨災害にて、災害ごみの処理が一息ついたと思うや、人吉球磨広域行政組合の負担金額もごみの量も増加の傾向にあり、ごみ処理にかかる経費を住民に示す等、ごみの分別及び減量化のための住民啓発を徹底された。

また、犬や猫の飼育は、個人の意思で愛情もって飼われていると思われるが、特に猫の飼育は放し飼いとなっているので、最後まで責任を持ち近隣に迷惑が掛からないよう、あいねっと“放送”を利用して注意喚起を促されることを期待する。

○健康保険課 (保険政策課)

(保険・年金係)

国保保険事業では、収納率、健診受診率、重症化予防等の取り組みに対する財政支援のもと、健康増進係(健康増進課)と連携しながら、住民周知を行い事業の遂行に努められたい。

人間ドックについては、助成金の拡充により受診者増につなが

ているので、今後も住民啓発を徹底されたい。

(高齢者支援係)

老人福祉費

超高齢社会を迎え高齢者のみの世帯が増加する中、高齢者タクシー券助成事業は利便性が向上しているが、乗合タクシー、買い物支援等のニーズの増加に対応するため、関係課及び事業主体と連携しながら住民への周知を行い効率的な運用を図りたい。

介護保険特別会計

第7期介護保険事業計画が終了し、第8期事業計画の実施の取り組みは、国の動向を注視しながら計画の円滑な遂行に努められたい。

また、介護保険認定者の増加や介護給付費が上昇傾向にあるが、介護予防の取り組みを強化し地域での健康づくり、健康寿命の延伸にむけて事業の遂行に努められたい。

〔健康増進係〕

中学生対象の健診及び19歳以上の基本健診は、若年層からの生活習慣病を見直す機会となり、生活習慣病の早期発見、早期治療を推進し、医療費の抑制に努められたい。

また、一般不妊治療の助成事業は少子化対策の一環として、啓発に努められたい。

なお、新年度から課設置条例の改正により、保険政策課及び健康増進課となり、町民の健康管理が一層高く期待されるので、互いの切磋琢磨で町民の負託に答えられることを望む。

○農林振興課 〔農林振興係〕

果樹高品質化施設導入事業については、近年ブドウ栽培も増加してきているようであり、農家から多くの要望が挙がっている状況であるので、国・県等の補助事業も取り入れながらフルーツの里づくりに努められたい。

肥育素牛導入事業の中で増額

は大いに評価するも、畜産農家の高齢化による減少を危惧する。

有害鳥獣の捕獲頭数は年々増加しており、錦町鳥獣害被害対策実施隊の人員確保はもとより捕獲技術の向上がうかがえる。その反面、農産物の被害が多岐に渡るため、困いわなやくくりわなを有効活用し、農産物被害が縮小されるように努められたい。

令和2年7月豪雨災害にて、森林、農地に甚大な被害が発生し、土砂や流木の流出を防止する施設等と用排水路の復旧を早急に完了するよう願う。

◎農業委員会

今年度は、農業委員の改選という年になるので、新聞紙上でも掲載されているように、女性の農業委員がまだまだ少ないことから、女性の農業委員を増員し、女性の立場から見た農業の活性化に期待する。

荒廃農地の非農地化については、平成25年度から積極的に取り組まれているが、昨年7月の豪雨災害に伴う災害復旧事業の土砂処

理場確保のためにも調査を行い、更なる非農地化を図りたい

○教育振興課 〔学校教育係〕

小学校のプログラミング教育を通じて、思考力の醸成や創造力の育みでグローバル社会に適應できる児童生徒の育成に努められ、ICT機器も活用した横断的な授業構成を願う。

心の教室相談事業において、不登校児童生徒等への個々の状況に応じた相談、対応がとられているが、子どもたちを取り巻く環境が年々変化しており、増加傾向にある。相談業務や教育サポーターによる家庭訪問・巡回相談、必要に応じて各専門機関との連携により、家庭・学校・地域・教育委員会が一体となり、全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることが出来る環境づくりに努められたい。

今回、木上地区の避難所が木上コミュニティセンターより木上小学校体育館に移動するにあたり、出入口のバリアフリー化が望ま

れる。

〔社会教育係〕

町内小学校で実施される放課後子ども教室は、児童や保護者にとつて大変有意義な事業である。今後も継続した事業を行うための体制づくりに努めるよう地域と学校が一体となった町づくりに期待する。

〔学校給食センター〕

学校給食は、子どもの成長に欠かせない食育の中心であり、安全で美味しい給食を提供することが重要である。

重油流出事故後、ボイラー室の設備が建設中とのことであり、万全を期すことを強く望むとともに、給食センター全体が老朽化による修繕や交換が今後さらに増加することから、早急に費用対効果を検証し、子どもたちに安心安全な給食を提供できる施設に改善されることを期待する。

議会のうごき

1月

- 5日 ・全員協議会
- 8日 ・令和2年第4回定例会再開
- 13日 ・広報特別委員会
- 14日 ・定例郡議長会議
- ・例月出納検査
- 19日 ・広報特別委員会
- 26日 ・広報特別委員会
- ・第12回錦町議会活性化特別委員会作業部会

2月

- 4日 ・全員協議会
- ・第10回錦町議会活性化特別委員会
- 12日 ・定例郡議長会議
- 15日 ・令和2年第4回定例会再開
- ・全員協議会
- ・例月出納検査（～16日）
- 19日 ・熊本県町村議会議長会定期総会
- 25日 ・人吉下球磨消防組合議会定例会
- 26日 ・人吉球磨広域行政組合議会定例会
- ・令和2年第4回定例会閉会

3月

- 1日 ・議会運営委員会
- ・全員協議会
- 8日 ・令和3年第1回定例会（～16日）
- 15日 ・全員協議会
- 16日 ・全員協議会（球磨川水系緊急治水対策プロジェクト・ロードマップ市町村議会説明）
- 18日 ・錦町議会活性化特別委員会作業部会タブレットデモ（～19日）
- 22日 ・例月出納検査（～23日）
- 23日 ・熊本県監査委員協議会定期総会及び研修会
- 24日 ・定例郡議長会議
- 25日 ・人吉球磨広域行政組合議会定例会
- 26日 ・消防団備品監査
- 30日 ・令和3年第1回臨時会

文化財、観光地等の紹介手段に
ネット配信Googleマップに
写真を投稿してみた

先日、人吉海軍航空基地資料館を訪れた際に、展示してある九三式練習機の写真をGoogleマップにネット配信したところ、10日間で1,100人以上の方が写真を閲覧され、資料館のコメント投稿では、3,300人以上の方が興味を持たれているとGoogleからお知らせが。数十秒間携帯を操作して、写真やコメントを投票しただけで結果、何千人もの人達に営業ができてしまった次第。

今後、錦町の文化財や観光地、誘致用の土地等を多くの方に紹介出来る一つの手段となる事間違いない、良識ある使い方をするれば、宣伝効果が大きいに期待できると考える。

（文責 早田和彦）



軌跡

議会の動きと一般質問される議員の方々の心意と熱量を、町民にいかにして伝えるか、最初はとまどいながらも、広報委員として、錦町議会だより『ほおじろ』の編集に携わって2年が過ぎた。私なりに読みやすく記載することを心掛けてきた。

コロナ禍による最初の緊急事態宣言から1年が過ぎ、コロナが変えた日常生活のなか小中学校の入学式が行われた。

希望と期待に胸を膨らませながら新入生の入場であったろう様子が、緊張した子供達の写真越しのなかにも伝わってくる。

子供達の笑顔あふれる錦町、老いても安心して暮らせる錦町を目指し、私もワクワク・ゾクゾクの期待と感動の当選時の新鮮さを残しながら、感動の眼が曇って諦めに変化しない様、好奇心を持つて是非の観点から議会だよりを書きたいと思っています。

令和3年が、町民の皆様にとりまして素晴らしい一年となります様願っております。

（文責 石松まゆこ）



【広報特別委員会】

委員長 荒川 孝一 委員 池田 秀晴
副委員長 早田 和彦 岡田 武志

石松まゆこ
議長 金山 民幸